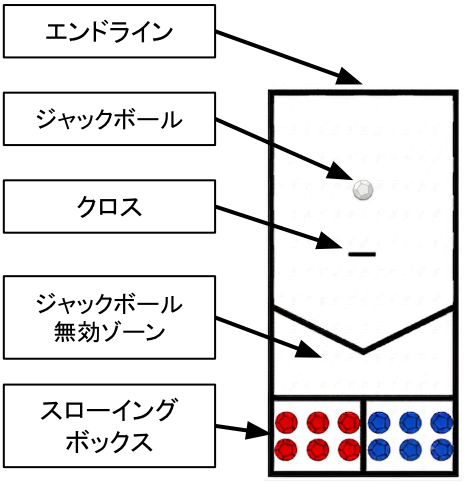
第３回みんなで楽しく北区ボッチャ大会（体験会）競技ルール

１　設備と用具



⑴　コート
・北区特別サイズ（バドミントンコートを利用）
・スローイングボックスは「赤」と「青」の２ボックスのみ
・スローイングボックスはエンドライン方向に向かって
左側を「赤」、右側を「青」とする

⑵　用具
「赤」ボール６個、「青」ボール６個、
「白」ジャックボール１個、メジャー、審判パドル
※パドル：審判用具の1つ。審判が選手に赤、青の投球を
指示及び得点を伝える際に使用する指示板

２　ゲーム方式

⑴　チーム構成は、３名１組とし、エントリーは６名までとする。
⑵　競技は、２エンドで行う。
１エンドとは、両者が全てのボールを投げ終わった時とする。
⑶　投球は１人２球。ボールの変更は競技中にはできない。
チーム内の投球順については規制しない。
⑷　４名以上エントリーしているチームの場合、選手交代を認める。
ただし、交代はエンド間のみとする。その場合は審判に申し出ることとする。

３　ゲームの流れ

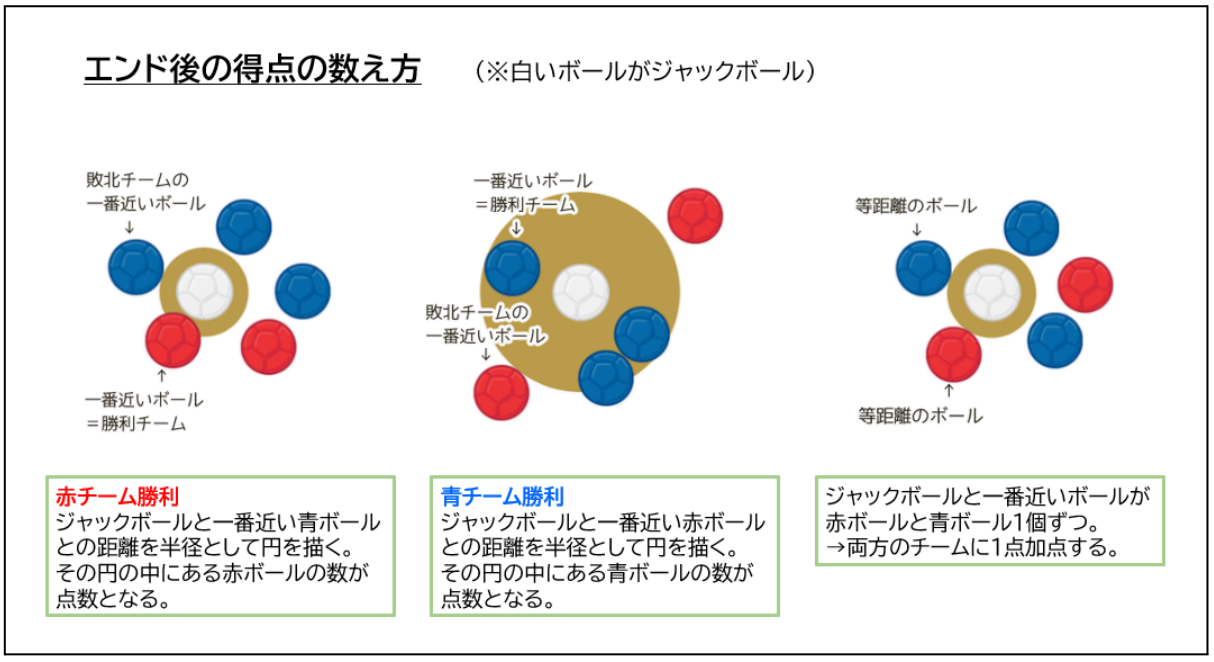
⑴　ジャンケンで先攻（赤ボール）、後攻（青ボール）を決める。
⑵　１エンド目は先攻（赤）がジャックボール（白ボール）を投球する。
有効の場合、続けてジャックボールと同じ投球者が赤ボールを投球する。
無効の場合、相手がジャックボールを投球する権利を得る。
（例：ジャックボールが無効とは、ジャックボール無効ゾーンにボールが止まった時、またはコート外に出た時）
⑶　ジャックボール、先攻（赤）、後攻（青）の３球が揃ったタイミング以降は、
ジャックボールに遠い距離にあるチームが投球する。
⑷　スローイングボックスの中であれば、どこから投げても良い。
チーム内で相談しても構わない。
⑸　以下の場合はファールとする。（注意のみとする場合あり）
Ａ：投球時、片足ないし両足が（車椅子選手においては車輪が）スローイングラインを超える、または線を踏んで投げた場合。車椅子のフットレスト（足乗せ台）については判定の対象としない
Ｂ：審判の指示板が出される前に投げた場合
※　ファールとなったボールは、除外する。
⑹　投げたボールや、ぶつけられたボールがコートから外に出た場合にはアウトボールとなるため、スローイングボックス傍のボールケースの上に置く。
ジャックボールは、カラーボールにぶつけられてコート外に出た場合は無効となる。無効となったジャックボールは、コート中央のクロス（コート中央の印）に置く。
⑺　アウトボールについて、ボールを真上から見てラインにかかればアウトとなる。
⑻　ジャックボールから最も近いボールが、赤と青で同じ距離になった場合は、直前にボールを投げたチームが投球する。距離に差が出るまで交互に投球する。

4　各エンド終了時

⑴　両チームが全てのボールを投げ終わったら、以下の手順で得点計算を行う。
基本の得点判定：
ジャックボール（白）に最も近いボールのチームにのみ得点が入る。
（例：一番近いのが「赤」の場合、相手（青）の最も近いボールよりも、ジャックボールに近い位置にある赤ボールの数がそのまま得点となる【１個につき１点】。青は０点）
同距離の場合：
ジャックボールから最も近い両チームのボールが同距離になった場合は、双方のチームにそれぞれ１個につき１点が与えられる。

⑵　１エンドが終わったら、次は青が先攻で同じようにゲームを行う。

⑶　チームのエンドごとの持ち時間は適用しない。



5　勝敗

⑴　各エンドの得点を加算し、合計点がより多いチームの勝ちとする。

⑵　リーグ戦においては、各エンドの合計点が等しい場合は引分けとする。

⑶　順位決定戦と決勝戦については、ファイナルショットにて勝敗を決定する。

※　ファイナルショットとは

①　ジャックボールをクロス（コート中央の印）に置き、じゃんけんで先攻後攻を決める。

②　投球は代表者１投とし、ジャックボールに近い方の勝ちとする。

③　ファイナルショットでも勝敗がつかない場合には、もう一度ファイナルショットを行う。

6　順位決定方法

⑴　勝ちを勝ち点３、引分けを勝ち点１、負けを勝ち点０とし、勝ち点の合計により順位を決定する。

⑵　勝ち点の合計が等しい場合、①得失点差②得点数③直接対戦の勝敗の順で優先して順位を決定する。

⑶　上記⑵において、順位が決定しない場合は当該チームによるファイナルショットによって順位を決定する。